

福島の子ども保養プロジェクト活動

# 6年レポート

2017 年度



福島県生活協同組合連合会  
福島県ユニセフ協会 福島大学地域環境論研究室



# コヨット! とは



「コヨット!」とは、子ども保養プロジェクトの  
こどもの目 ほよの目 プロジェクトの目  
保養に「来よう!」と誘う意味も含まれています。

## 目的

福島の子ども保養プロジェクト（愛称：コヨット!）は、東京電力福島第一原子力発電所の事故による被災地の子どもたちや保護者をケアする具体的な取り組みとして実施してきました。放射能によるさまざまな制約がある日常生活から離れてのびのびと過ごすことで、ストレスを解消したり、他の家族やスタッフと触れ合うことで安心感を得たりすることが、親子関係の安定につながることに大きな意味があります。発災後満7年が過ぎ、住宅地や通学路などの除染も進み、空間線量は低下してきています。また、内部被ばくは食べ物でコントロールできることもわかってきましたが、子育て家庭の不安は解消されているわけではありません。

避難指示解除や住宅無償提供の打ち切りにより帰還せざるを得ない親子への寄り添い活動も重要になってきます。これまでの7年間の活動で得た教訓を生かして取り組んでいきたいと考えております。

私たちは、今後のコヨット!の活動は、子どもの心と成長、保護者特にお母さんの心身のケアを重点的に取り組み、一日でも早い被災の終わりを被災当事者が実感できるよう努めていくことに考えています。

## 4つのコース

コヨット!では、子どもの年齢や目的に合わせてこれまで4つのコースを設定しています。2015年から「こども遊び塾」週末保養コースもスタート。いずれのコースも、子どもや保護者が心身両面から保養することを目指しています。

**① 週末保養企画** 就学前（0歳～小学入学前）の子どもと保護者を対象に、福島県・山形県・宮城県の温泉宿に1泊2日で出かけ、子どもたちの外遊びと家族のリラックスタイムを支援

**② 就学児週末保養企画** 小学1年生～6年生の子どもたちを対象に、東京ディズニーランドや体験施設等に出かけ、子どもたちの様々な体験を支援

**③ 県外受入れ保養企画** 全国の受け入れ団体が企画した保養プログラム。小学生以上中学生未満の子どもたちを対象に（参加可能な年齢は各企画による）、長期の休み期間中に実施。2013年4月からは体験型の企画が満載

**④ 「こども遊び塾」週末保養コース** 2015年度新規企画として小学生を対象に森の中での自然体験

## プロジェクト運営体制



週末保養企画 遠刈田温泉



週末保養企画 天童温泉 共立社渾身の企画「お買い物キッチン」全国で展開中!

## プロジェクト実施状況

(2011年5月9日～2018年3月31日)  
(累計企画数: 1,731 企画 参加数延べ: 83,166 人)

『週末・県外受入れ保養企画』(2017年4月1日～2018年3月31日)

### 2017年度 実施状況

|             |      |               |
|-------------|------|---------------|
| ① 週末保養企画    | 44 回 | 参加人数: 1,312 人 |
| ② 就学児週末保養企画 | 6 回  | 参加人数: 401 人   |
| ③ 県外受入れ保養企画 | 19 回 | 参加人数: 440 人   |

※受入団体名等については13ページ参照

### 主な費用

事前打ち合わせ費、参加者およびスタッフの宿泊費、バス借り上げ代、旅行保険費、通信費、会議費、広告費、等。



週末保養企画 リゾートインぼなり



週末保養企画 東山温泉

### 実施期間

|           |          |            |
|-----------|----------|------------|
| 週末保養企画    | : ほぼ毎週末  | 1泊2日       |
| 就学児週末保養企画 | : ほぼ毎月1回 | 1泊2日       |
| 県外受入れ保養企画 | : 通年     | 1泊2日～1週間程度 |



県外受入れ企画 大阪府生活協同組合連合会



県外受入れ企画 富山県生活協同組合連合会



県外受入れ企画 生活協同組合コープこうべ



県外受入れ企画 生活協同組合ララコープ



県外受入れ企画 埼玉県生活協同組合連合会



県外受入れ企画 長野県生活協同組合連合会



県外受入れ企画 生活協同組合コープあきた



県外受入れ企画 生活協同組合コープみえ

2011.12.1～2018.3.31 まで 合計企画数: 580 企画 参加数延べ: 20,252 人

|             |          |               |                           |
|-------------|----------|---------------|---------------------------|
| ① 週末保養企画    | : 389 企画 | 参加数: 13,139 人 | (うち平日企画: 6 企画 参加数: 104 人) |
| ② 就学児週末保養企画 | : 43 企画  | 参加数: 2,987 人  |                           |
| ③ 県外受入れ保養企画 | : 148 企画 | 参加数: 4,126 人  |                           |

『おもいっきり!そとあそび』コース (2015年度で終了)

### 対象

環境放射線量が高い福島県中通りの  
保育園・幼稚園の園児

### 実施団体

主催: 福島県ユニセフ協会/福島県生協連  
共催: 福島交通株式会社 福島交通観光株式会社

### 実施状況

期 間: 2011年5月9日～2016年3月31日  
企 画 数: 1,151 企画  
参加人数: 62,914 名 (延べ人数)



コヨット！  
アドバイザー 西崎 伸子  
(福島大学行政政策学類教授)

東日本大震災と福島第一原発事故から丸7年が過ぎました。復旧・復興の進捗、避難と帰還をめぐる状況などが大きく変わり、個人や地域社会が抱えている問題にも変化がみえてきています。

2011年12月にコヨット！として週末保養を実施してから6年半。当初は、避難したくてもできない親子にせめて短期間でも被ばくの影響を減らすためにと始めた保養の企画は、参加者のニーズに沿って形を変えてきました。当初は未就学児童を対象としていた企画も、就学児童への保養支援へと変わりつつあります。

震災後から長期にわたり、子どもたちは外遊びを制限され、窮屈な思いをしてきました。外遊びの制限が解除された後は校庭や公園で遊ぶ姿がみられるようになりましたが、除染がおこなわれない森などの自然環境で遊ぶことには未だとまどいがみられます。7年たっても、「ここに座っていい？」「これに触っていい？」と、保護者の承認なしには動けない子どももみられます。だからこそ、コヨット！のプログラムでは、子どもたちがのびのび過ごせる外遊びと体験活動を大事にしてきま



全労済福島推進本部  
本部長 今泉 裕氏

2011年3月に発生した東日本大震災以降、復興支援を目的として、福島県生協連、福島県ユニセフ協会、当時の福島大学災害復興研究所が行ってきた「福島子ども保養プロジェクト（コヨット！）」は、県内外の多くの団体の理解と支援を得ながら進められてきましたが、同時に、こうした関係する諸団体との間で、共同体組織が形成されてきたことは、大きな成果ではなかったでしょうか。

当初は、累積被ばくの低減も目的のひとつであったと聞きますが、これまでの取り組みから生まれた様々なノウハウの蓄積と新たなアイデアによ

した。

昨年、わたしは県外受入企画のプログラムに一日参加し、受け入れ団体のスタッフのみなさんが、福島県から参加する子どもたちの遊びへのモチベーションを最大限高めようと、創意工夫されている様子を見ました。また、リピーターで参加した子どもたちが、受入れ団体のスタッフに指導を仰ぎながら、支援する側として活動しており、7年間の子どもの成長を感じました。

その一方で、福島市や郡山市で開催している「コヨット！ほっこりママ会」では、子どもの成長について話をしたり、相談したりする機会が得られず、孤立している人たちもみられます。週末保養企画では、保護者同士が交流する機会をもてるよう、みんなで夕食を食べ、自己紹介をする機会をつくってきました。「コヨット！ほっこりママ会」では専門家を交えて子育て全般に関する話ができる雰囲気づくりをしています。

前向きになりチャレンジしている人も、少し立ち止まっている人も、子どもも保護者も、参加者もスタッフも、みんなが自信をもって、自分の役割を果たし、その行為を認めてもらえるような社会のあり方を、保養を中心としたさまざまな支援活動を今後もおこなうことで探っていければと思います。

り、広い意味での保養とケアや参加者同士のコミュニケーション、親子のコミュニケーション、そして、森遊びを通じた自然との共生や学習など、ますます内容が充実してきていると感じています。

今後、「コヨット！」の活動をどのようにしていくのかを考えれば、財政問題や人的支援の在り方など悩ましい問題が山積しているかと思いますが、これまで培ってきた関係諸団体との協働の輪により、きっと良い解決策を見出だしていただけるのではないかと期待しています。

私どももその一助になるべく、今後も寄り添っていきたくと考えています。



「福島子どもたちを徳島で思いっきり楽しんでいただきたい」という想いで！



生活協同組合とくしま  
理事長 梶原 樹氏

2017年夏、福島子どもたちと保護者のみなさんを徳島県にお招きし、楽しく、明るく、元気で思いっきり遊び、「全員笑顔いっぱい」をめざして、「コヨット・イン・とくしま」を開催させていただきました。

まるごと徳島を楽しんでもらいたいという想いから、以下のような企画を実施しました。

- ・日本3大秘境「祖谷のかずら橋」をみんなで歩きました。
- ・四国三郎と称されている吉野川上流の「大歩危」「小歩危」でラフティングを体験していただきました。
- ・阿波踊り会館で本物の阿波踊りを見学し、指導をいただきながらみんなで一緒に踊りました。
- ・鳴門公園に行き、渦潮と大鳴門大橋を見学しました。

以上の企画を通じて、子どもさんの満面の笑顔



が広がった3日間でした。終わったあと、みなさん全員から感想文を送っていただきました。その中からお一人だけですがご紹介します。

「わたしは、はしわたりやあわおどりをしてもいい2はく3かでした。そのなかでも1ばんたのしかったのは、ラフティングです。さいしょはこわくて、ないてしまったけど、あとからはとてもたのしかったです。こんなたのしいところなんてしあわせ♡♡♡さいこうの夏やすみ！！」

このような感想をみなさん書いていただきました。今年度（2018年度）も「福島子どもたちを徳島で思いっきり楽しんでいただきたい」という想いを込めて、福島子どもたちをお招きしたいと思っています。



ン大会など、そして最終日は定番のテーマパークです。毎夜のスタッフミーティングでは、子ども同士のつながりや、元気な子、おとなしい子、うまく馴染めていない子など、気づいたことを共有し、翌日の行動に反映させ、少しでも良い思い出を持って帰ってもらえるよう運営しています。東日本大震災の記憶が少ない学生で始めました。今後は学生を被災地に連れて行き、震災の実相等を学ぶ取り組みも検討しています。



大阪府生活協同組合連合会  
小山 正人氏

大阪府生協連では、2012年の夏に滋賀県、奈良県との共同開催からコヨットを始め、翌年からは単独で実施しています。2014年度からは夏休みと春休みの年2回行い、2017年度までで10回実施し、延べ241名の小学生をお招きしました。大阪の企画は小学4～6年生の子どものみを受入、運営スタッフは、大学生協の協力を得て学生ボランティアで運営しています。これまで延べ136名の学生スタッフが参加しています。企画内容は、企業や会員生協等のご協力による施設見学や体験学習、また、たこ焼パーティ、大学対抗レクリエーショ

## 「こども遊び塾」

発災後、屋外活動を制限されて育った子どもたちの肥満傾向の割合は改善されてきたとはいえ、未だ全国的に高い水準にあります。

また、3～4年続いた屋外活動の制限は、子どもの脳の発達にも少なからぬ影響を与えていると考えられています。

人間が生命を存続させるため、自分の身を守るための自律神経系・免疫系・内分泌系をコントロールする機能がある大脳辺縁系は、幼児期に成長すると言われ、屋外で遊ぶことにより、自然から受ける刺激で、より成長が高まるとも言われています。この部分が成長するのは9歳までだということが科学的にもわかっています。

2017年10月8日、スポーツ庁が公表した「2016年度体力・運動能力調査結果」によると幼児期の外遊びの頻度が高い小学生ほど今も運動習慣が身についており、体力テストの合計点が高い傾向にあったことがわかりました。



森の音楽会担当  
藤野 恵美氏

「コヨット!こども遊び塾」にて、「森の中で“山の音楽家”を合奏しよう!」という音楽ワークショップを楽しみました。当日は、森の中に、スタッフの汗の結晶「特設ステージ」がつくられ、こどもたちのテンションはマックス!

こどもたちひとりひとりに、ステージに上がっていただき、予め用意した木琴や鍵盤ハーモニカ、キーボード、カスタネットなど、思い思いの楽器を手に、「山の音楽家」の演奏で自己紹介!こどもたちは、はにかんだり、照れたりしながらも一生懸命です。

山に囲まれた環境で「山の音楽家」を奏でるこどもたちは、まさに山の音楽家でした。

こどもたちの中には、ステージに飾られた木を選



以降、コヨットの活動は、屋外活動が制限され、十分そと遊びができずにきた子どもたちをそと遊びに連れ出し、脳の成長を促すことにあると考え、県から、沼尻県有林を借り受け、地元の森林組合や「里山の復活活動組織」や「一般社団法人プレーワーカーズ」と連携し、「こども遊び塾」に取り組んでいます。

「こども遊び塾」の参加対象者は、小学校低学年の子どもたちとその保護者となっています。

この年代の子どもたちが、震災後、もっとも屋外活動の制限を受けた子どもたちで、小学校低学年を対象とした保養企画が皆無に等しいというのが現状です。



択し、叩いて演奏する子もいました。室内では生まれることのない発想です。大自然の中で、音の本質に自ら辿り着いたようです。普段では体験することが出来ない音楽会だったのではないのでしょうか。

低学年から高学年までと年齢は離れていましたが、協力しながら同じ曲を奏でることにより、みんなの心が一緒になった気がしました。演奏するこどもたち、それを見守る保護者のみなさん、スタッフ、森の中の虫さんや草や木も一体となった瞬間でした。

## コヨット! ほっこりママ会

### 【心のケア】

避難しなかった保護者、避難したけれど戻ってきた保護者、今も避難をし続けている保護者、どの保護者も確実に心に傷を負っています。

私たちは、この7年余りの「福島の子ども保養プロジェクト」を通して、多くの子どもたちとその保護者に寄り添ってきました。

そうした中で、最も注意を払ってきたことは、ひとりひとりの考えや立場を尊重し、決して否定しないこと。いろいろな考え方、多様性を認めあうということでした。

2011年から2012年にかけては、「福島の子ども保養プロジェクト」の役割のひとつに「被ばくの低減」ということがありましたが、現在は「子どもの心と成長」と保護者特に「お母さんのケア」となっています。



日本プレイセラピー協会  
本田 涼子氏

「コヨット!ほっこりママ会」の参加者は毎回12～13名くらいで、リピーターでいらしてくださる方もいせいか、和気あいあいとした雰囲気で開催されています。自分をいたわる「セルフケア」になる遊びをしたり、臨床心理士の視点を交えて、日ごろの子育ての中でママたちが困っていること、悩んでいることについて語りあっています。

子育てはただでさえママたちにとってストレスのかかる事業ですが、福島のママたちのお話を伺っていて感じるのは、そこにどうしてももう一回り大きな負荷がかかりやすい、ということです。「放射線に対する考え方が違う中で、このことを相談しても大丈夫だろうか。」「福島の産物を他県の人にお礼品として送りたいが迷惑がられないだろうか。」と、原発事故がなければ感じたり、考えなくて済んだことに、向き合われる日常があります。

県内の保護者の皆さんが持ついろいろな思いや考え方の違いに寄り添いながら、心と心をつなぐコネクターの役割があるのではないかと考えています。

これからの福島、オール福島にしていくための大切な役割が託されていると感じています。

私たちは、放射能と向き合いながら、福島で暮らさざるを得ない、子育てをし続けたいといけいない保護者。人によって放射能に対する考え方や受け止め方が異なる中で、思ったことが言えずに苦悩する保護者をひとりぼっちにさせない、誰も置き去りにしない取り組みも重要であると考え、こうした保護者、特におかあさんたちの心の整理や精神的ケアのお手伝いをして、一日でも早い被災の終わりを被災当事者が実感できるよう、日本プレイセラピー協会、福島県臨床心理士会と連携して、「コヨット!ほっこりママ会」を、今後ますます充実させていきたいと考えています。



アクティビティ



グループ・トーク  
「自分と子どもを見つめてみよう」

「コヨット!ほっこりママ会」では、こうした誰にでも言えるわけではない気持ちを言葉にしたり、子育てで困っていることのちょっとした解決の糸口を見つけたり、という「安心の場」を作ることを大切にしています。先日、初めて参加された方が、友人から「会に参加したらやさしくなれるよ。がんばれるよ。」と言われて参加してみたとおっしゃっていました。ホッとできる空間、自己肯定感を得られる空間、そして、自分のことが後回しになりがちな子育ての中で、自分をいたわる＝セルフケアの方法を学ぶ機会を今後も提供したいと思っています。

## ほっこりママ会【料理教室】



料理研究家

本田 よう一 氏

参加者が地元で手に入る食材を使いながら、普段の食事の中で楽しく美味しくをモットーに講師を務めさせてもらっています。みんなで料理を作る機会が減ってきているので、参加者によっては学校の調理実習以来なんて方も。自分のキッチンとは勝手も違うし、不慣れでちょっと大変なところもありますが、みんなで作ってみんなで食べるといつもの食材もとても美味しくなります。栄養のバランスや食塩の話などもしながらですが、ワ



イワイとみんなで作るとより楽しく、その楽しさも味の一つだと思います。

ぜひ、一度参加してみてください。美味しい楽しいと一緒に体験しましょう！

**毎日のご飯作りを少しでも楽しく気軽に。**

家族で作れる発酵なしのピザのレシピで、親子でぜひ、一緒に生地をこねたり、伸ばしたり、あーだこーだ言いながら、作ってもらえると嬉しいです。トッピングは自由に変えてみてくださいね。

### レシピ

#### 親子で簡単に作れる

#### ホットプレートピザ「マルゲリータ」

＜材料＞（ミニサイズ2枚分）

A（薄力粉 50g 強力粉 50g 砂糖、塩 各2つまみ・ベーキングパウダー 小さじ1/2）

オリーブ油 大さじ1  
牛乳 1/4カップ

トマトソース  
ケチャップ 大さじ6  
オリーブ油 大さじ1  
ニンニクのすりおろし 少々

マルゲリータ用  
ピザ用チーズ 60g  
トマト 1個（ヘタを取って、薄切りにしておく）  
バジル・オリーブ油 適量



＜作り方＞

- 1.大きめのボールにAを入れてよく混ぜる。中央にくぼみを作り、オリーブ油を2回に分けて入れて、その都度、軽くくずすように混ぜる。
- 2.再びくぼみを作り、オリーブ油と同じ要領で、牛乳を3回くらいに分けて加えて混ぜる。牛乳が全体になじんだら、手でひとまとまりになるまで混ぜる。打粉少々をふった作業台に生地を移す。
- 3.生地を手のひらのつけ根で押し付けて、伸ばした生地を手前に折りたたみ、さらにのばす、とい

- う作業を繰り返しながら、2～3分ほどこねる。
- 4.表面がなめらかになったら、ひとまとめにして、丸く形を整えて、ラップでぴっちり包み、冷蔵庫で10分ほど休ませる。
- 5.作業台に打ち粉を少々ふり、ラップを外して生地をのせる。2等分にする。生地を時々、回転させながら、直径約10cmくらいになるまでめん棒でのばす。
- 6.ホットプレートにオリーブ油適量を薄くキッチンペーパーで伸ばし、弱めの中火にかける。生地を広げながら入れてフタをする。中火で3分蒸し焼きにする。返して、火を止める。
- 7.ピザのトマトソースをスプーンの背でまんべんなく塗りつける。ピザ用チーズを全体に広げて、トマトを乗せる。フタをして、中火で3～4分蒸し焼きにする。トマトを乗せた方には、バジルをのせて、オリーブ油をかける。

#### ポイント

発酵いらずの生地なので、食べたいと思ってから35分でできちゃう簡単さ。  
具材も火を使わないので、すぐできますよ。  
粉はできれば、ふるって空気を入れるとより生地がなじみやすいです。  
ピザ用チーズをモッツアレラチーズにするとよりリッチな味  
今回はホットプレート用になっていますが、生地は22cmくらいのピザ1枚分にもなりますので、フライパンやオーブンなどで作ってもおすすめです。

## 子どもの「居場所」「遊び」「参加」の拠点づくりに取り組んでいます。

私たちは、単に、子どもたちが遊ぶ自然を提供するだけではなく、「農業体験」「食農体験」「野外教室」などの体験型企画が提供できる環境を産官学連携で整えられないかと話し合いを進めています。

県内4つの協同組合と協同組合を支援する21の団体で組織する「地産地消ふくしまネット」と「こども遊び塾」や未就学児の週末保養の施設が立地する猪苗代町、そして、2019年4月設置で進められている福島大学食農学類との連携です。

福島大学では、2017年12月6日に、食農学類

が自治体や住民と連携して繰り広げる実践型のプログラムを猪苗代町を含む県内9市町村で実施すると発表しました。これで、ようやく「子どもたちの多機能型の居場所・遊び・参加づくり」という構想の体制が整ったことになります。

将来的には、このフィールドを福島の子どもたちに限らず、全国からのたくさんの子どもたちと学生たちが集える場所にし、福島の子どもたちや学生たちとの交流が図ればとの思いがあります。



福島大学経済経営学類  
教授 小山 良太 氏



特任准教授  
林 薫平 氏

## 子どもと食・農・自然資源の 体験学習機会を新たなステージに

2019年4月1日に福島大学農学群食農学類を開学する計画がいよいよ具体的に最後の段階に入っています。国立大学において「農」学部の新設は、実に40年ぶりとのこと。原子力災害によりダメージを受けた福島県農業の再生の要として、次世代の食農人材を養成しようと考えています。

「食」「農」学類という名称に表現しているように、これからの農業を発展させていくためには、生産、加工、流通、消費までもを包含したフードシステムとしての視点が重要です。

原子力災害と「風評」問題の中で食の場（消費・生活空間）と農林漁業の場（生産空間）を改めて結びつけることの重要性を痛感しました。

そこで、本学類では、「川上」の農業・農家・農村による生産を対象とした農学から、加工・流通を含む「川中」、小売・消費・生活空間を含む「川下」までも視野に入れたフードシステム全体を農学の対象として捉え直します。

また、里山環境や農地・農業用水などの資源を保全して継承する中で、人々のなりわいとしての農業が成立し、そこから、伝統としての食文化が地域ごとに形成されてきているという長い視野に立ったとらえかたも重要です。

さらに、現在の農業は、地域住民や都市部の住民たちの憩いの場・安らぎの場としての役割や、こどもたちの学びの場（食育・木育）としての役割を増してきています。

本学類では、このように地域の中で農業や食産業

が果たしている役割や課題から出発する実践的な農学教育を標榜し、これを「フィールド農学」と定義しています。

「福島の子ども保養プロジェクト」「コヨット！」から発展した猪苗代町における子どもの居場所や遊びの場づくりは、森遊びや食育や伝統文化の学習の要素を取り入れて展開してきて、具体的に地域の中に里山や農業があることの役割を鋭く問い直すとともに、そこに関わる若い人たちの人間形成にも取り組まれてきており、私たちのフィールド農学とも重なり合うものと考えています。

本年度は、食農学類のフィールド農学の重要な拠点の一つとして、私たちも猪苗代町の農林課と色々な話し合いを進め、教員や学生たちも徐々に関わりを始めています。

磐梯山麓の雄大な自然や里山を生かした地域農業・地域産業の振興、蕎麦や大豆や野菜をつくり集落を活性化すること、またミツバチを育て環境学習のフィールドをつくるなどの特徴ある取り組みについて学び、会津地域全体で進めている「世界農業遺産登録」との連動も視野に含めています。

コヨット！活動との接点も様々な場面で太くつながっていき、子どもたちや学生たちが「食といのちを学ぶ」フィールドとしての猪苗代町をつくっていきたいと考えています。

## 「食のこと、楽しくおいしく学ぶ取り組み」にご支援を！

支援は何もお金ばかりではないということから、物資の支援もお願いしました。子どもたちの工作キットを連合福島様から200台寄贈いただきました。JAふくしま未来様からは、今年もお米1トンを寄贈いただきました。

昨年7月8、9日の「コヨットin ぼなり」の際には「全国流しそめん祭」を企画し、そのそめんを日本生協連を通じて全国にお願いしたところ、たくさんのお国自慢のそめんが、届きました。

今後は、全国各地の「いちおし農畜産物」を送っていただき、「食のこと、楽しくおいしく学ぶ取り組み」も取り入れていきたいと考えています。

送っていただいた生協のこと、送っていただいた農畜産物のこと、その地域の食文化のことをパンフレットにして、楽しくおいしく学ぶ取り組みです。



こども遊び塾で連合福島様からいただいた工作キットで作ったモーター付き自動車を手に森で記念撮影



コヨットの活動を通して、いろいろな人たちとの交流を図り、ネットワークが広がっていくことが、とても大切なことだと実感しています。

コヨットで育った子どもたちが、今度は、自分たちの弟や妹たちの世代をサポートしていく、こうして幾世代にもわたって、つながっていく。そうした環境づくりができればと考えています。今後とも変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いします。



こども遊び塾で流しそめん大会を行い、生協名とそめんを紹介しながら提供させていただきます。



大阪の食材を持ち込み子どもたちと一緒に年2回の恒例になった「たこ焼きづくり」(大阪いずみ市民生活協同組合)

### 子どもたちからのメッセージ



## 惜しまれつつ…楽しい思い出をありがとう！

### 遠刈田温泉 さんさ亭企画

みやぎ生協・コープトラベルみやぎの協力で開催してきた遠刈田温泉さんさ亭が、2018年5月12日の企画で最後となりました。

この6年間で通算33回お世話になりました。

みやぎ生協の理事・組合員の皆さん、ボランティアスタッフとして、子どもたちに寄り添っていただいた大学生のおにいさん、おねえさん、本当にありがとうございました。



遠刈田公園で遊ぶ子どもたち



北会津フルーツランドでのぶどう狩り



東山温泉の体験企画

遠刈田公園での親子でしっぽ取りゲームや芋虫じゃんけん、ボール遊び、翌日のアンパンマンミュージアムは、楽しい思い出になりました。

### 東山温泉 東山グランドホテル企画

コープあいづの理事・組合員さんの協力で開催してきた東山温泉の企画も2018年1月27日の企画で最後になりました。

赤べこの絵付け体験、いちご狩り、クリスマスケーキづくり、ピザづくりなどのたくさんの思い出をありがとう。

## 新たな小学生週末保養施設が登場！

遠刈田温泉さんさ亭や東山温泉の企画に替わり、小学校低学年対象の週末保養施設として、新たに「サンバレー那須」「エンゼルフォレスト那須白河」が登場しました。

### 「サンバレー那須」第1弾開催！

5月19日に開催しました。

初日は、陶芸家の先生によるプレート型、茶碗型、人形型の作り方説明があり、さっそく実践。何を作るか悩んでいる子もいましたが、一度作り始めるとけっこうなペースで進んでいました。先生と助手の方の援助もあって、ほぼ予定の1時間で作り上げることができました。

その後は、「屋外温水プール」で遊ぶ親子もいました。夕食は「森のテーブル」でバイキング。夕食後、「ナイトサファリ」も有料で体験できます。

2日目は「お菓子の城」にて、お店を見学。マフィンづくりを楽しみました。



サンバレー那須「屋外温水プール」



「お菓子の城」でのマフィンづくり体験

### これからスタートする

### 「エンゼルフォレスト那須白河」では…

家族単位でドームコテージに宿泊する予定です。

初日は、昔ながらの玩具

工作(けん玉、独楽の

絵付け)、民芸品絵付

け(赤べこ、起き上が

り小法師など)、ジェル

キャンドル作成などで楽

しんだ後は、露天風呂や水着で入るガーデンスパで、疲れを癒し、夕食(朝食)はバイキング。夕食はデザート類を含めて約50種類だそうです。

2日目は、パスポートのいらない英国旅行「British Hills」にて、英語で行う本格的なスコーンづくりを体験。ハリーポッターの世界にようこそ！



ブリティッシュヒルズの内部

## 2017年度福島の子ども保養プロジェクト 収支報告 (2017.4.1～2018.3.31)

| お預かりしている支援金 (単位:円)   |             |
|----------------------|-------------|
| 科 目                  | 金 額         |
| 2016年度「くらし・地域復興応援募金」 | 24,926,834  |
| 日本ユニセフ協会からお預かりした支援金  | 20,463,347  |
| 直接お預かりした支援金計         | 4,334,760   |
| 市民生活協同組合ならコープ        | 2,334,932   |
| 福島県労働者共済生活協同組合       | 600,000     |
| 日本労働組合総連合会 福島県連合会    | 500,000     |
| 平和の杜学園 むつみ幼稚園        | 295,222     |
| 高知県学校生活協同組合          | 276,504     |
| 協同組合ネットいばらき          | 100,000     |
| NPO法人 里山再生と食の安全を考える会 | 70,300      |
| 福島県労働福祉協議会           | 50,000      |
| 福島県高齢者大集会 実行委員会      | 30,000      |
| フラハーラウ キエレ レイ        | 20,860      |
| アトリエ ウッフッフ           | 20,000      |
| その他募金                | 36,942      |
| グッズ等売り上げ             | 890,240     |
| 預金の利息                | 998         |
| これまでにお預かりしていた支援金     | 76,240,022  |
| 合計                   | 126,856,201 |

| 2017 年度使わせていただいた支援金 (単位:円) |            |
|----------------------------|------------|
| 科 目                        | 金 額        |
| 事務局で使用した金額                 | 7,872,481  |
| 電話代や切手、送料など                | 263,529    |
| バス代                        | 12,112,550 |
| 宿泊代                        | 16,757,301 |
| 体験代などの費用等                  | 6,549,370  |
| 年次レポート                     | 1,140,000  |
| 運営委員会やスタッフ研修費              | 1,368,281  |
| 保険料                        | 897,226    |
| 振込等にかかった費用                 | 38,447     |
| コヨットグッズ代等                  | 1,302,000  |
| ビンゴゲーム景品代                  | 27,690     |
| お菓子代                       | 303,019    |
| おもちゃ代                      | 78,455     |
| ホームページ更新他                  | 640,000    |
| その他                        | 1,384,892  |
| 使わせていただいた支援金の総額            | 50,735,241 |
| 継続してお預かりする支援金              | 62,339,713 |
| 日本ユニセフ協会からお預かりする支援金        | 13,781,247 |

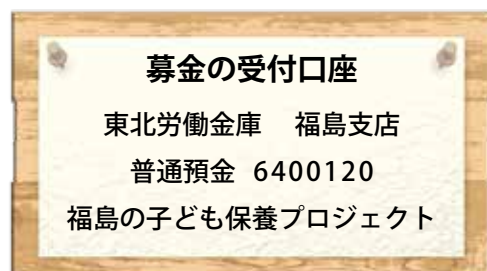
※参加者からいただいている参加費については、バス代・宿泊代等で相殺しています。

## 2017 年度にお寄せいただいた「くらし・地域復興応援募金」

| 組 合 名                                                              | 金 額       |
|--------------------------------------------------------------------|-----------|
| 生活協同組合コープみらい                                                       | 3,766,428 |
| 生活協同組合コープこうべ                                                       | 3,583,323 |
| 神奈川県生活協同組合連合会                                                      | 1,310,636 |
| 京都生活協同組合                                                           | 1,207,077 |
| 生活協同組合ユーコープ                                                        | 1,000,000 |
| 生活協同組合コープあいち                                                       | 1,000,000 |
| とちぎコープ生活協同組合                                                       | 904,576   |
| 生活協同組合コープぎふ                                                        | 800,000   |
| 生活協同組合コープかがわ                                                       | 677,982   |
| 日生協健康保険組合                                                          | 569,480   |
| 生活協同組合おかやまコープ                                                      | 500,000   |
| こうち生活協同組合                                                          | 500,000   |
| 生活協同組合コープおきなわ                                                      | 480,000   |
| トヨタ生活協同組合                                                          | 384,703   |
| 日本生活協同組合連合会・日本コープ共済生活協同組合連合会・コープ情報システム株式会社・日本生協連労働組合・コープ情報システム労働組合 | 318,642   |
| 生活協同組合共立社                                                          | 305,972   |

| 組 合 名                                                              | 金 額        |
|--------------------------------------------------------------------|------------|
| 鳥取県生活協同組合                                                          | 268,905    |
| 日本生活協同組合連合会・日本コープ共済生活協同組合連合会・コープ情報システム株式会社・日本生協連労働組合・コープ情報システム労働組合 | 268,640    |
| 生活協同組合しまね                                                          | 132,625    |
| 生活協同組合コープあきた                                                       | 111,600    |
| 大阪よどがわ市民生活協同組合                                                     | 105,200    |
| 生活協同組合コープにいがた                                                      | 100,000    |
| 東都生活協同組合                                                           | 100,000    |
| 生活協同組合連合会コープ北陸事業                                                   | 74,689     |
| 愛媛県生活協同組合連合会                                                       | 50,000     |
| 長崎県生活協同組合連合会                                                       | 50,000     |
| 北海道学校生活協同組合                                                        | 31,635     |
| 山形県学校生活協同組合                                                        | 20,000     |
| 東京西部保険生活協同組合                                                       | 20,000     |
| 農林水産省職員生活協同組合                                                      | 15,212     |
| 双葉生活協同組合                                                           | 5,388      |
| 合 計                                                                | 18,662,713 |

※ 2018 年度の活動に使用します



2月20日に連合福島様から東日本大震災対策支援金を寄贈いただきました。

## 支援をしてくださったみなさま



### 福島県外受入企画による支援 (2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日)

| 2017年    |                                                            |
|----------|------------------------------------------------------------|
| 7/7~8    | いばらきどきどき体験ツアー (第20回)<br>いばらきコープ 生活協同組合/協同組合ネットいばらき         |
| 7/7~8    | 福島の子ども保養プロジェクトinパル茨城(米沢郷)<br>生活協同組合パルシステム茨城/協同組合ネットいばらき    |
| 7/21~24  | 福島の子ども保養プロジェクト in なら<br>市民生活協同組合ならコープ                      |
| 7/24~31  | ほんわかのびのび夏休み in はこだて2017<br>子どもを応援する会「ほんわか」                 |
| 7/26~28  | 2017夏コヨット! in とくしま<br>2017夏コヨット! in とくしま実行委員会              |
| 7/27~30  | コヨット in ながの チャレンジキャンプ<br>長野県生活協同組合連合会                      |
| 7/28~31  | 福島の子ども保養プロジェクト in ぐんま<br>生活協同組合コープぐんま                      |
| 7/29~8/2 | 福島の子ども保養プロジェクト in よしまキャンプ<br>生活協同組合コープこうべ/神戸YMCA/兵庫県ユニセフ協会 |
| 8/2~3    | コープあおもり ねぶたツアー<br>生活協同組合コープあおもり                            |
| 8/3~5    | 夏休み コヨット! in 三重<br>生活協同組合コープみえ                             |

| 8/4~6    | 福島の子ども保養プロジェクト in とやま2017<br>富山県生活協同組合連合会                          |
|----------|--------------------------------------------------------------------|
| 8/7~9    | コープあきたプレゼンツ親子で行くなまはげツアー<br>生活協同組合コープあきた                            |
| 8/18~22  | コヨット! in おおさか 2017<br>大阪府生活協同組合連合会                                 |
| 8/20~22  | 2017コヨット in 埼玉<br>埼玉県生活協同組合連合会・埼玉県ユニセフ協会                           |
| 12/9~10  | 福島の子ども保養プロジェクト in 茨城(星空観測)<br>生活協同組合パルシステム茨城/協同組合ネットいばらき           |
| 12/16~17 | いばらきどきどき体験ツアー (第21回)<br>いばらきコープ 生活協同組合/協同組合ネットいばらき                 |
| 2018年    |                                                                    |
| 3/24~27  | 2018春コヨット in えひめ親子で楽しむ体験ツアー<br>2018年春コヨット in えひめ実行委員会/生活協同組合コープえひめ |
| 3/24~28  | コヨット! in おおさか 2018 春<br>大阪府生活協同組合連合会                               |
| 3/26~29  | コヨット! in ながさき 2018長崎の海とハウステンボスで思いっきり遊ぼう!<br>生活協同組合ララコープ            |



子ども保養プロジェクト in とやま2017



2018春 コヨット! in えひめ



福島の子ども保養プロジェクト in なら



2017夏 コヨット! in とくしま



コープあおもり ねぶたツアー



福島の子ども保養プロジェクト in ぐんま



子ども保養プロジェクト in パル茨城(米沢郷)



ほんわかのびのび夏休み in はこだて



いばらきどきどき体験ツアー

## 協力団体

2018.3.31現在

日本生活協同組合連合会  
公益財団法人日本ユニセフ協会  
認定NPO法人 世界の子どもに  
ワクチンを 日本委員会  
株式会社 ポケモン

### その他団体

日本労働組合総連合会福島県連合会  
福島県労働福祉協議会  
東北労働金庫福島県本部  
全労済福島県本部  
福島県農業協同組合中央会  
福島県漁業協同組合連合会  
福島県森林組合連合会  
茨城県農業協同組合  
新潟県労働金庫  
帝国ホテル労働組合  
福島県高齢者大集会 実行委員会  
磐梯高原リゾート・インぼなり  
財) 沼尻勤労者保養センター  
協和交通株式会社  
JTB東北 法人営業福島支店  
福島交通観光株式会社  
株式会社 SAGA DESIGN SEEDS  
石川県立飯田高等学校  
滋賀県立彦根東高等学校新聞部  
平和の杜学園 むつみ幼稚園  
北海道七飯町  
北海道森町  
政田農園 (北海道森町)  
トトロの里富原観光果樹園 (北海道七飯町)  
フラハーラウキエレレイ

### 生協関連

福島県生活協同組合連合会会員生協  
コープふくしま、コープあいづ、  
福島県南生協、パルシステム福  
島、あいコープふくしま、福島医  
療生協、きらり健康生協、郡山医  
療生協、あいづ医療生協、浜通り  
医療生協、福島県学校生協、福島  
大学生協、福島県労済生協  
生活協同組合コープさっぽろ  
北海道学校生活協同組合  
生活協同組合コープあおもり  
青森県生活協同組合連合会  
青森県民生活協同組合  
青森県庁消費生活協同組合  
生活協同組合コープあきた  
秋田県北生活協同組合

みやぎ生活協同組合  
宮城県生活協同組合連合会  
生活協同組合共立社  
山形県生活協同組合連合会  
山形県学校生活協同組合  
いばらきコープ生活協同組合  
生活協同組合パルシステム茨城  
茨城県生活協同組合連合会  
茨城県学校生活協同組合  
協同組合ネットいばらき  
とちぎコープ生活協同組合  
生活協同組合コープぐんま  
生活協同組合パルシステム千葉  
千葉県生活協同組合連合会  
生活協同組合コープみらい  
生活協同組合連合会コープネット事業連合  
埼玉県生活協同組合連合会  
東京都生活協同組合連合会  
東都生活協同組合  
東京南部生活協同組合  
北区・荒川区・足立区生協連絡会  
農林水産省職員生活協同組合  
生活協同組合・消費者住宅センター  
東京西部保険生活協同組合  
生活協同組合ユーコープ  
生活協同組合うらがCO-OP  
富士フイルム生活協同組合  
神奈川県生活協同組合連合会  
川崎医療生活協同組合  
全日本海員生活協同組合  
生活協同組合コープながの  
長野県生活協同組合連合会  
双葉生活協同組合  
生活協同組合コープにいがた  
富山県生活協同組合  
石川県学校生活協同組合  
生活協同組合コープいしかわ  
生活協同組合連合会 コープ北陸事業連合  
福井県民生活協同組合  
福井県生活協同組合連合会  
生活協同組合コープあいち  
トヨタ生活協同組合  
みなと医療生活協同組合  
生活協同組合コープぎふ  
生活協同組合コープみえ  
生活協同組合コープしが  
滋賀県生活協同組合連合会  
わかやま市民生活協同組合  
京都生活協同組合  
大阪いずみ市民生活協同組合

大阪よどがわ市民生活協同組合  
生活協同組合おおさかパルコープ  
大阪府生活協同組合連合会  
奈良県生活協同組合連合会  
市民生活協同組合ならコープ  
生活協同組合コープこうべ  
生活協同組合おかやまコープ  
日立造船因島生活協同組合  
三井造船生活協同組合  
生活協同組合ひろしま  
生活協同組合連合会 コープ中国四国事業連合  
鳥取県生活協同組合  
生活協同組合しまね  
生活協同組合コープやまぐち  
山口県生活協同組合連合会  
生活協同組合コープかがわ  
香川県学校生活協同組合  
香川県庁消費生活協同組合  
生活協同組合とくしま生協  
愛媛県生活協同組合連合会  
生活協同組合コープえひめ  
こうち生活協同組合  
高知県学校生活協同組合  
高知県生活協同組合連合会  
生活協同組合連合会 コープ九州事業連合  
エフコープ生活協同組合  
福岡県学校生活協同組合  
コープさが生活協同組合  
生活協同組合ララコープ  
長崎県生活協同組合連合会  
福祉生活協同組合いきいきコープ  
生活協同組合コープおおいた  
大分県学校生活協同組合  
生活協同組合コープみやざき  
生活協同組合くまもと  
生活協同組合コープかごしま  
生活協同組合コープおきなわ  
日本生活協同組合連合会  
日本コープ共済生活協同組合連合会  
全国学校用品株式会社  
株式会社コープクリーン  
コープ情報システム株式会社  
日生協企業年金基金  
日生協健康保険組合  
日生協本部健康保険委員会  
れいんぼーくらぶ  
公益財団法人生協総合研究所  
国際協同組合同盟 (ICA)  
協同組合ネットいばらき  
全国消費者団体連絡会

## ボランティアスタッフ支援

生活協同組合コープみえ、生活協同組合共立社、みやぎ生活協同組合、日本医療福祉生活協同組合連合会、  
日本生活協同組合連合会、桜の聖母短期大学

## 物資のご寄贈

(2017年度)

全国の各生協自慢のソーメンが届きました。  
ララコープ、コープえひめ、コープかが  
わ、コープやまぐち、おかやまコープ、富  
山県生協、パルシステム茨城、みやぎ生協



農林中金の岩上様より  
スイカ、ゆずそおダーなど珍しい物を  
贈っていただいております。

全国各地の「いちおし農畜水産物」を送っ  
ていただき「食のこと・楽しくおいしく学ぶ  
取り組み」を今後企画していきたいと思っ  
ています。ご支援・ご協力をよろしくお願いい  
たします。

## 福島の子ども保養プロジェクト紹介用ボックスを貸し出いたします

資金難を少しでも克服するために、ひとつは、コヨットの  
理解を深めて、募金活動が継続できるように、コヨットの  
紹介用ボックスの貸し出しと「グッズを買って応援しよ  
う!」という呼びかけを日本生協連を通じて行っています。

### ボックス内容

- 内容紹介タペストリー (W60×H85cm) 4枚
- 参加した子どもからのメッセージ 2枚
- オリジナル募金箱 2個

スーツケースにて発送します。送料については借り側負担に  
なります。貸出お申込みは、FAXお申込み用紙またはお申込  
みフォームで受付しております。



## グッズを買って 応援しよう!

オリジナルグッズ (絆創膏、ピン  
バッジ、クリアファイル、ボールペン、  
マグネット、トートバック等) を販売  
いたしております、イベント等でご利  
用下さい。売上金はすべてコヨット  
の募金になります。



絆創膏、クリアファイル、ボールペン  
各@100円  
ピンバッジ (1個)、マグネット (2個)  
各@200円



トートバック (W36×H37cm) @500円  
マグカップ (200ml) @800円  
サーモボトル (360ml) @2,000円

## プレーカー「あそぶ〜べ〜」を貸し出いたします



ならコープ寄贈

プレーカーの中には「プレーキット」と呼ばれる、手作りの  
遊び道具がたくさん詰まっています。工作をしたり、  
絵の具で思いっきり絵を描いたり、ペーゴマや釘さし  
をしたり。子どもの「やってみよう!」気持ちや遊び場に  
合わせて、遊び方は自由自在!



「コヨット!」とは、  
子ども保養プロジェクトの  
こどもの<sup>コ</sup> ほよ<sup>ヨ</sup>うの<sup>ト</sup>  
プロジェクトの<sup>ト</sup>  
保養に「来よう!」と誘う意味も  
含まれています。

**発行元**

**福島の子ども保養プロジェクト**（福島県生活協同組合連合会内）

〒960-8105 福島県福島市仲間町4-8 ラコパふくしま4階

TEL 024-522-5334 FAX 024-522-2295

コヨット!公式ウェブサイト <http://fukushimakenren.sakura.ne.jp/>